



## 2024年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年9月12日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2198 URL <https://www.ikk-grp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 和也

TEL 050-3539-1122

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期第3四半期の連結業績(2023年11月1日～2024年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	16,533	5.3	1,527	55.1	1,551	52.6	998	57.3
2023年10月期第3四半期	15,700	18.2	984	4.8	1,017	20.6	634	24.4

(注) 包括利益 2024年10月期第3四半期 1,007百万円 (58.3%) 2023年10月期第3四半期 636百万円 (31.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	34.81	
2023年10月期第3四半期	21.79	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第3四半期	18,767	9,910	52.6
2023年10月期	20,012	10,050	50.0

(参考) 自己資本 2024年10月期第3四半期 9,866百万円 2023年10月期 10,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年10月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期		0.00		24.00	24.00
2024年10月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,350	6.2	2,130	8.9	2,145	7.0	1,420	5.9	49.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年10月期3Q	29,956,800 株	2023年10月期	29,956,800 株
期末自己株式数	2024年10月期3Q	1,332,627 株	2023年10月期	645,632 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2024年10月期3Q	28,624,173 株	2023年10月期3Q	29,134,156 株

(注)2023年12月11日開催の取締役会において、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)」の再導入を決議いたしました。自己株式については、当四半期連結会計期間末にアイ・ケイ・ケイホールディングス従業員持株会専用信託が所有する697,700株を含めて記載しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年11月1日から2024年7月31日まで）におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用情勢や企業収益は緩やかな改善がみられるものの、長期化する円安の影響により物価は上昇傾向にあり、個人消費の持ち直しに足踏みが見られました。また、欧米の高金利水準の継続や中国経済の低迷等、国内外の経済に与える影響が懸念されるなか先行き不透明な状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、2023年の婚姻件数が48万組（厚生労働省「2023年 人口動態統計速報の年間推計」）と前年と比べ3万組減少しており、結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は緩やかに減少傾向にあるものの、ゲストハウス・ウェディング市場は概ね底堅く推移しております。

このような状況の下、結婚式に対する価値観の多様化が広がるなかで、当社グループは「ご縁ある人々の笑顔と幸せのために行動し、挑戦する」という経営理念に基づき、パーソナルなウェディングやサービスを提供すべく、スタッフの人間力・接客力向上を目的とした社内外の研修、独自の営業支援システムを活用した情報収集力・分析力を強化し、各施策に積極的に取り組んでまいりました。また、ウェディング市場のシェア拡大に向けて、潜在的な顧客ニーズを掘り起こす手段としてデジタルマーケティングを内製化し、集客力の向上、売上高の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,533百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は1,527百万円（同55.1%増）、経常利益は1,551百万円（同52.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は998百万円（同57.3%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 婚礼事業

前連結会計年度（2023年4月）にオープンした「The迎賓館 偕楽園 別邸」（水戸支店）が稼働したことに加え、既存店の施行組数が減少したものの、施行単価が増加したことにより、売上高は15,520百万円（前年同四半期比3.3%増）、人件費等は増加したものの前年同四半期比で販管費率が低下したことにより、営業利益は1,357百万円（同26.8%増）となりました。

#### ② 介護事業

前連結会計年度（2023年3月）にオープンした「アイケアライフ伊万里」（伊万里2号店）が稼働したこと等により、売上高は472百万円（前年同四半期比9.2%増）となりましたが、人件費等の増加により営業利益0百万円（前年同四半期は6百万円の営業損失）となりました。

#### ③ 食品事業

売上高は225百万円（前年同四半期比21.1%増）となりましたが、人件費等の増加により営業利益は35百万円（同28.9%減）となりました。

#### ④ フォト事業

前連結会計年度（2023年3月）にオープンした「studio clori.NAGOYA」（名古屋支店）が稼働したこと等により、売上高は493百万円（前年同四半期比169.2%増）、営業利益は135百万円（前年同四半期は84百万円の営業損失）となりました。

#### ⑤ 結婚仲介事業

売上高は7百万円（前年同四半期比12.7%減）、営業損失は3百万円（前年同四半期は45百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,244百万円減少し18,767百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加した175百万円、売掛金が183百万円、流動資産その他が210百万円、有形固定資産が377百万円、投資その他の資産その他が215百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,105百万円減少し8,856百万円となりました。これは主に、買掛金が239百万円、短期借入金が増加した150百万円、未払法人税等が増加した202百万円、賞与引当金が176百万円、長期借入金が増加した325百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ139百万円減少し9,910百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益998百万円の計上による増加、剰余金の配当703百万円による減少の他「信託型従業員持株会インセンティブ・プラン」の再導入による自己株式の取得及び処分を行い、自己株式が441百万円増加したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.6ポイント上昇し52.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,011,277	4,836,232
売掛金	447,796	264,267
商品	204,467	236,277
原材料及び貯蔵品	91,029	92,220
その他	631,707	420,717
貸倒引当金	△9,596	△6,010
流動資産合計	6,376,681	5,843,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,922,911	8,478,428
土地	1,850,919	1,886,584
その他(純額)	335,850	367,157
有形固定資産合計	11,109,680	10,732,170
無形固定資産	163,724	157,033
投資その他の資産		
差入保証金	1,297,564	1,184,907
その他	1,064,353	849,253
投資その他の資産合計	2,361,918	2,034,161
固定資産合計	13,635,323	12,923,364
資産合計	20,012,005	18,767,068
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	915,516	675,686
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,114,458	1,121,648
未払法人税等	315,283	112,939
賞与引当金	373,913	197,894
その他	2,234,403	2,200,038
流動負債合計	5,103,575	4,308,206
固定負債		
長期借入金	3,132,601	2,799,920
退職給付に係る負債	25,282	24,783
ポイント引当金	13,562	13,883
資産除去債務	1,199,356	1,208,798
その他	487,545	500,852
固定負債合計	4,858,347	4,548,237
負債合計	9,961,922	8,856,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,655	351,655
資本剰余金	348,488	347,018
利益剰余金	9,671,036	9,966,123
自己株式	△422,560	△864,175
株主資本合計	9,948,620	9,800,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,138	—
退職給付に係る調整累計額	11,866	7,451
為替換算調整勘定	46,349	58,778
その他の包括利益累計額合計	66,355	66,230
非支配株主持分	35,107	43,772
純資産合計	10,050,083	9,910,624
負債純資産合計	20,012,005	18,767,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	15,700,559	16,533,863
売上原価	6,610,209	6,629,387
売上総利益	9,090,349	9,904,476
販売費及び一般管理費	8,105,682	8,376,829
営業利益	984,667	1,527,647
営業外収益		
受取利息	9,321	13,229
その他	46,227	32,934
営業外収益合計	55,549	46,163
営業外費用		
支払利息	14,225	14,376
その他	8,907	7,458
営業外費用合計	23,132	21,834
経常利益	1,017,083	1,551,975
特別利益		
補助金収入	119,621	39,809
特別利益合計	119,621	39,809
特別損失		
固定資産除却損	24,198	27,043
特別損失合計	24,198	27,043
税金等調整前四半期純利益	1,112,507	1,564,741
法人税、住民税及び事業税	301,624	434,699
法人税等調整額	173,405	123,685
法人税等合計	475,029	558,384
四半期純利益	637,477	1,006,357
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,583	7,802
親会社株主に帰属する四半期純利益	634,894	998,554

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	637,477	1,006,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,699	△8,138
退職給付に係る調整額	△2,223	△4,417
為替換算調整勘定	4,682	13,293
その他の包括利益合計	△1,240	737
四半期包括利益	636,237	1,007,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	633,244	998,429
非支配株主に係る四半期包括利益	2,993	8,664



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	789,684千円	849,480千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年7月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2023年11月1日 至 2024年7月31日）

当社グループの報告セグメントは、婚礼事業、介護事業、食品事業、フォト事業及び結婚仲介事業であります。介護事業、食品事業、フォト事業及び結婚仲介事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。